

科目名	ファイナンス A Corporate Finance A						
科目担当者	本田 信雄 HONDA Nobuo						
単位数	2	配当年次	2年	授業形態	講義	開講学期	前期
履修学部・学科 [区分]	経営学部・経営学科 [専門教育科目 専門科目]					ディプロマポリシーとの関連	(2)(4)
授業の概要	ファイナンス理論について、その内容を説明し、さらに問題演習を行なう等して理解度を深めるようにしながら講義を進めていく。取り扱う内容としては、ファイナンス A では、貨幣の時間価値概念、投資決定方法、資本コスト、資産評価方法、資本構成などを予定している。これらの内容に関する理論説明と問題演習を行なう。						
授業の到達目標	①ファイナンスに関する諸理論の内容を理解する。 ②例題・問題演習などを通して、現実社会におけるその適用可能性について理解する。						
授業計画・内容	1	ファイナンスとは					
	2	キャッシュフローの基本概念					
	3	貨幣の時間価値概念について(1)ー貨幣の時間価値概念とは、将来価値と現在価値					
	4	貨幣の時間価値概念について(2)ー将来価値と現在価値の求め方					
	5	投資決定方法(1)ー概説					
	6	投資決定方法(2)ー正味現在価値法とその計算方法					
	7	投資決定方法(3)ー回収期間法と内部収益率法、その計算方法					
	8	投資決定方法(4)ー3方法の比較					
	9	資本コストとその計算方法(1)ー資本コストとは、個別資本コスト					
	10	資本コストとその計算方法(2)ー加重平均資本コストとその計算方法、問題演習					
	11	資産価値評価について(1)ー概説					
	12	資産価値評価について(2)ー配当割引モデル					
	13	資産価値評価について(3)ー配当割引モデルの応用、問題演習					
	14	資本構成(1)ー資本構成とは					
	15	資本構成(2)ー資本構成に関する諸理論、まとめ					
授業外学修 (事前学修)	配布資料に目を通し、専門用語等を調べておく (毎週 2 時間)						
授業外学修 (事後学修)	配布資料・講義内容ノートに目を通し、課題実施に備えておく(毎週 2 時間)						
成績評価方法・ 評価比率・到達 目標との対応	成績評価方法				評価比率		到達目標との対応
	前期末定期試験(またはレポート) 講義時の課題(レポートまたは小テストを計 6 回)				50%		①②
				50%		①②	
成績評価基準	秀：(評点 90 点以上) 到達目標を極めて高い水準で達成している場合 優：(評点 80 点～89 点) 到達目標を高い水準で達成している場合 良：(評点 70 点～79 点) 到達目標を一定の水準で達成している場合 可：(評点 60 点～69 点) 到達目標を最低限の水準で達成している場合 不可：(評点 60 点未満) 到達目標に達していない場合						
教科書	必要に応じて資料を配布する。						
参考文献	なし						
その他							